

「30年後の八幡浜」中学生作文コンクール 最優秀賞作品及び入賞者紹介

【最優秀賞】 題名「ようこそ、みかん遊園地へ」

真穴中学校3学年 ^{たま} ^き 玉木 ^{らん} 蘭 さん

たくさんの人達の笑い声や、にぎやかな話し声が聞こえてきました。そこには、オレンジ色の世界が広がっています。「みかん遊園地」これが、30年後の八幡浜の町を活気づけています。私は、八幡浜にたくさんの人が集まり、にぎやかで楽しい町になってほしいと思っています。それと同時に、八幡浜自慢のみかんや魚、忠八翁について、たくさんの人に知ってほしいと思いました。そこで思いついたのが、みかん遊園地です。ここからは、私の考えたみかん遊園地について紹介したいと思います。

まず、遊園地内をオレンジ色に染めて、入園してくる人達に印象づけたいです。そして最初に目に入ってくるのは、みかん観覧車です。人の入る1つ1つの箱のみかんの形にしたいです。ほかに考えた、遊園地内のコーナーは3つあります。

1つ目は、玉虫型飛行機の形をしたジェットコースターです。忠八翁のことについて知ってもらえるとともに、たくさんの人に楽しんでもらえたいと思います。

2つ目は、八幡浜の魚を使ったミニ水族館です。私は、魚を食べることは大好きですが、魚の種類や旬の魚について詳しく知りません。そこで、八幡浜の魚について、地元の人達がさらに関心を深めていくことで、地産地消率が高まるのではないかと考えました。私も、魚のことについて詳しく分かると、もっとおいしく食べられると思いました。

3つ目は、八幡浜の特産品をふんだんに使った、フードコーナーです。八幡浜には、自慢できるおいしい食べ物がたくさんあります。練り製品や八幡浜ちゃんぽん、みかんを使った料理に魚料理とたくさんの人に食べてもらいたいです。特に、私は八幡浜のみかんが日本一おいしいと思っているので、全国的にもっと有名になってほしいと思っています。私が思いついた園内のコーナーのアイデアは3つしかありませんが、市民の方たち全員の発想力を使えば、もっと充実したテーマパークが完成するのではないのでしょうか。

私達、真穴中学校の2年生は、4月に修学旅行で大阪や京都に行きます。特に楽しみにしているのは、大阪の遊園地です。私達が大阪や東京へ旅行に行くように、県外からたくさんの人が八幡浜に集まってほしいです。また、八幡浜には九州大分へとつながるフェリー乗り場があります。県外の人たちとつながるチャンスが無駄にせず、八幡浜との輪を広げていきたいです。私は、市外へと買い物や遊びに行くことがよくあります。ですが将来は、友達とバスに乗って八幡浜市内を、1日満喫してみたいといつも思います。地元の人からも、ほかの地域の人からも愛される「みかん遊園地」30年後、八幡浜に住むことが、とても楽しみになってきました。